

令和5年度 第1回下関市男女共同参画協議会
議事録概要

1 日 時	令和5年8月28日(月) 14:15~16:00
2 場 所	下関市役所 本庁舎西棟 5階大会議室
3 出席者	下関市男女共同参画協議会委員 12名 事務局側 下関市職員 6名

【委嘱状交付式】

- 1 委員委嘱状交付
- 2 前田市長挨拶

5 【令和5年度第1回下関市男女共同参画協議会】

- 1 事務局職員紹介
- 2 委員自己紹介
- 3 会長、副会長の選出
会長に家根内清美様、副会長に小林正様

4 報告事項

(1) 「第4次下関市男女共同参画基本計画の進捗状況について」

- ・ 令和4年度男女共同参画に係る下関市の実施事業

講演会、シンポジウム	6件
ワークショップ、セミナー、学習会等	29件
調査、アンケート	2件
広報活動、情報提供	50件
相談業務	38件
支援制度	25件
作品募集	0件
その他	45件
合 計	195件

・ 審議会等の女性委員登用率について（令和 5 年 4 月 1 日現在）

区分	令和 5 年 4 月 1 日現在			令和 4 年 4 月 1 日現在
	総数	女性委員数	女性比率	女性比率
行政委員会	41 人	5 人	12.2%	12.2%
法律・政令の規定により設置	2 9 9 人	9 2 人	30.8 %	31.0%
法律に基づく条例の規定により設置	3 3 1 人	1 0 2 人	30.8%	31.1%
その他の条例の規定により設置	3 3 8 人	1 1 1 人	32.8 %	31.0%
合計	1, 0 0 9 人	3 1 0 人	30.7 %	30.3%

※ 質問・意見等

委員 A：行政委員会の比率がなかなか改善しないことについて、具体的にどのような原因があり、どのような方策が考えられるか。

事務局：法令等で分野が決まっており、その専門的分野に女性がいない、既に依頼をしてしまい変更が困難である、継続して審議が必要なため従前の委員を任命している等が多いためである。所管課へ「プラスワン運動」を実施しており、少しずつ協力してもらい意識も徐々に上がっていると感じる。

委員 B：委員を充て職としており、女性委員が 0 の審議会について、充て職が女性でないのであれば、そのルールを変えるべき。

事務局：充て職については、仕組みに問題があるなら考えていかなければならない。例えば、役職者を必須とせず、一定の責任のある意見を出せる人、等。

委員 C：女性が力を出せる環境を作り始めたところを大事にして、広げていくことが一番大切と思う。

(2) 令和5年度事業計画について

(事務局より説明)

※質問・意見等

委員 A：令和4年度の事業かも知れないが、デートDVのリーフレットが分かりやすいため、大学だけでなく中学校や高校の学生等もっと配布した方がいいのでは。

事務局：高校には山口県のデータDVパンフレットを配布していると聞いたため、当課では大学に配布した。今後、下関商業高校へ講座に行く機会があるため、その際には学生に配布する。

5 その他

事務局：「同性パートナーシップ宣誓制度について」の説明及び実施自治体、課題

※質問・意見等

委員 D：同性パートナーシップ宣誓制度を始めることで、人口流動についてメリットになる。色々と課題はあると思うが、そういった観点からも進めると賛同が得られるのでは。

委員 A：他市町を見ると、県のみでの制度実施地域では各市町での理解促進は疎かだと言われている。基礎自治体で取り組んでいるか否かで市民への浸透率が違うため、下関市でも実施し、県も重ねるといった形で実施してほしい。また、ある市では、自治体のシステム連携ができていなかったため、宣誓制度が使用できなかったという例もあったため、市でも検討すべきと思います。

委員 C：突然この話がでてびっくりしている。戸惑う人も多いと思う。進める際には、反発が出てくるため、丁寧にするべき。

委員 A：LGBTQの方は、自分がLGBTQだと話してしまえば棲家を追われ、差別されてしまうのではないかと怯えている。反対意見は出ると思うが、現在の実施自治体は人口カバー率の7割を超えているため、実施していない自治体の方が悪目立ちしている状況である。今後も検討を進めて欲しい。